

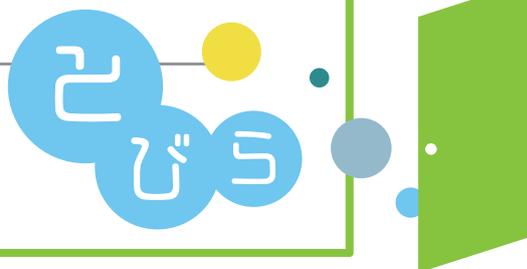
特集《意見交換会》

— 市民の声を聞きました —



柏崎市議会だより

ギカイの



No.195 令和6(2024)年2月5日

今回の表紙

活発に発言する市民の皆さん

五つのグループに分かれて、意見を交わしました
(テーマ2・Aチーム)。
(場所 産業文化会館)

もくじ

■ 特集《意見交換会》	P2・3
■ 委員会審査報告	P4・5
■ 先進地を視察しました	P6・7
■ 一般質問、賛否一覧	P8～12
■ 政務活動を行いました	P13～15
■ 2月定例会議日程 ほか	P16



11月23日、産業文化会館で実施しました

3つのテーマに寄せられた 市民の思い

テーマごとの主な意見

テーマ1 持続可能な地域公共交通 ～乗って守ろう、大切な生活の足～

(総務常任委員会)

- より多くの人に乗れるように、路線バスの時間や停留所の位置を改善してほしい。
- 郊外の路線バス減便地域こそ、デマンド化が必要。
- 大型免許取得には費用・時間がかかるので、路線バスは二種免許で乗れる小型車両に切り替えた方が、運転手を確保・育成しやすいのではないか。

A | 新交通「あいくる」に関する意見

- 路線バスが減っているので「あいくる」には期待する。
- 自宅付近は「あいくる」の運行範囲ではないが、運行地域まで移動し、市街地は「あいくる」を使おうと思う。
- 小型車両・乗り合いであることを生かして、乗務員や乗客が障がい者への理解を深め、自然にサポートできると良い。

テーマ2 子どもを取り巻く環境の充実 ～どうする？あなたの地域の子育て～

(文教厚生常任委員会)

- 子ども食堂への行政の積極的な関与を望む。
- 屋内外の子どもの遊び場を増やしてほしい。
- コミセンでの子育て広場や子育てサークルなど、民間の情報も市から積極的に周知してほしい。
- 病児保育の利用手続きをもっと簡素化できないか。
- 定員の関係で、兄弟が別々の保育園にならないようにしてほしい。

- 親の経済力の違いによる塾利用の格差に対しても経済的な支援がほしい。
- 子育てのために就労職種が限定され、結果的に収入水準が低くなり教育費の負担が厳しい。
- 多子世帯への金銭的な支援が不足している。学用品のリサイクルなどの取り組みを拡充してほしい。

テーマ3 産業支援の在り方 ～雇用の場の確保～

(産業建設常任委員会)

- 障がい者雇用について企業の理解がもっと必要ではないか。
- 聴覚障がい者が求職している時に、面接で筆談ができるようにするなどの工夫が必要ではないか。
- 過疎化の進んだ地域は一次産業（儲かる農業、漁業）、土木などが強みになるのではないか。
- 柏崎市の基幹産業であるものづくりを生かし、

防衛産業やロボット開発などができないか研究することも必要である。

- 原子力関係の研究施設などを誘致することはできないのか。
- 水素エネルギーの開発に力を入れてはどうか。
- 企業の誘致が難しいのであれば、柏崎市に今ある企業への支援を、さらに強化した方がよいのではないか。



常任委員長によるテーマ説明



テーマ1 (Aチーム)



テーマ1 (Bチーム)



テーマ2 (Bチーム)



テーマ3



全体発表

いただいた意見について、担当委員会で協議しました。市政に反映すべきものは市の担当部局と情報共有を図るとともに、引き続き議会としても対策などについて検討していきます。



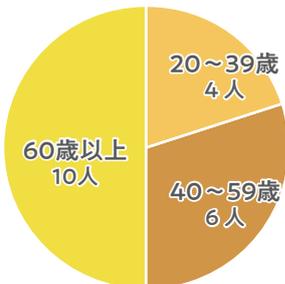
意見交換会

アンケート結果より

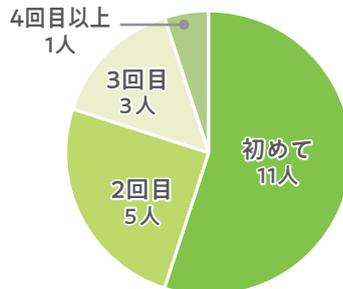
約95%の参加者から回答をいただきました。



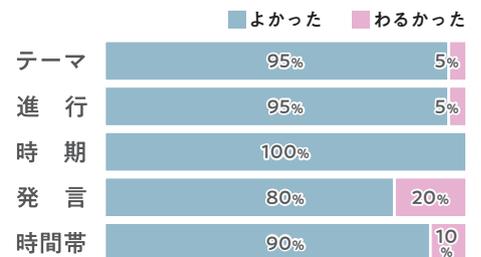
あなたの年齢は？



何度目の参加ですか？



意見交換会はどうでしたか？



意見交換会で取り上げてほしいテーマとして、「少子高齢化」「原発問題」「統廃合後の校舎の活用」「教育」などの回答がありました。

皆さまの声を参考に、今後も有意義な意見交換の場を提供できるように企画していきます。



令和5(2023)年12月定例会議常任委員会での審査について 報告します

総務常任委員会

■委員長 佐藤正典 ■副委員長 近藤由香里
■委員 布施 学・山本博文・持田繁義・佐藤和典・星野正仁

1件の議案を審査しました。

● 職員の自己啓発等休業に関する条例

概要

大学などへの就学や国際貢献活動を希望する職員に対し、公務に支障がなく能力向上に資すると認める場合、職員としての身分を保有したまま、職務に従事しないことを認める休業制度。

主な質疑

- Q これまでに、該当する事例があったのか。
A これまでに事例はなかった。
Q 今回の条例制定の経緯は。
A 職員から自己啓発などを目的とする休業に関する問い合わせがあったことを機に、庁内で検討し、条例化することとした。

文教厚生常任委員会

■委員長 春川敏浩 ■副委員長 五位野和夫
■委員 星野幸彦・三嶋崇史・西川弘美・重野正毅・上森 茜

2件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

● 市立保育所条例の一部を改正する条例

概要

高柳保育園が令和5(2023)年度をもって閉園することに伴う、市立保育園の数の変更に関する改正。

● 公の施設の指定管理者の指定について（新潟県立こども自然王国）

概要

令和6(2024)年度以降の新潟県立こども自然王国の指定管理者に生態計画研究所を指定する。

産業建設常任委員会

■委員長 阿部 基 ■副委員長 田邊優香
■委員 山崎智仁・池野里美・三宮直人・相澤宗一・真貝維義

3件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

- 公の施設の指定管理者の指定について（ワークプラザ柏崎）
- 公の施設の指定管理者の指定について（海洋センター）
- 公の施設の指定管理者の指定について（家族旅行村）

概要

ワークプラザ柏崎、海洋センター（シーユース雷音）および家族旅行村（じよんのび村）の令和6(2024)年4月から5年間の指定管理者に、それぞれシルバー人材センター、かしわざき振興財団、じよんのび村協会を指定する。



委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます



審査結果

予算決算常任委員会

■委員長 重野正毅 ■副委員長 持田繁義

※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

令和5(2023)年度一般会計補正予算(第13号)など、15件の議案について審査しました。

総務分科会

令和5(2023)年度一般会計補正予算(第13号)

- 首都圏からの移住・就業者支援事業
(260万円)

概要

要件を満たす首都圏からの移住者への補助金として、単身世帯に60万円、2人以上世帯に100万円(18歳未満の子どもがいる場合は加算あり)を支給する経費。

主な質疑

- Q 増額理由と今後の見通しは。
- A 本事業は県の支援金を財源としている。今年度は既に4人に支給し、補助額が当初予算の上限に達したため、募集を停止していた。県から追加配分されたことから、対象要件を満たす4人に支給するものである。

文教厚生分科会

令和5(2023)年度一般会計補正予算(第13号)

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
(2606万2000円)

概要

令和6(2024)年1月から3月までのワクチン接種に要する経費。

主な質疑

- Q 今回の増額に関わる接種の変更点は。
- A 接種対象者の下限年齢を5歳から生後6か

月へと拡大し、令和5年12月としていた秋開始の接種期間の終期を令和6年3月31日に延長する。



産業建設分科会

上水道事業給水条例の一部を改正する条例

概要

水道料金の改定および道路内の給水管工事費負担の見直し。

主な質疑

- Q 増額の理由は。
- A 経営改善を行ってきたが、人口減少や節水志向による料金収入の減少などにより、年

間3億円から4億円の赤字となることが想定されるため、料金の改定を行う。

- Q 給水管工事の市負担額は。
- A 市の負担額は、過去3年分の平均で44件、2094万円。道路内の給水管工事費を行政が負担しているのは県内では柏崎市のみであり、経営改善の一環として廃止する。

先進地を 視察しました



総務常任委員会

10月11日(水)～13日(金)



上田市

学んできたこと

- 公共交通のキャッシュレス決済
- A I 導入によるオンデマンド交通
- 公共交通網維持のための事業者への行政支援

常任委員会の活動



ここに注目!

長野県上田市

官・民・金融機関が連携し、地元企業が開発したQRコード決済システムの導入で乗客の利便性向上、交通事業者の負担軽減、地域経済への波及効果を図っていた。「あいくる」のキャッシュレス決済導入を検討する際に参考としたい。

長野県安曇野市

10年以上前に完全に撤退した路線バスに代わり、地域内デマンドバス（予約受付・配車にA I 導入）を主要な交通機関としていた。柏崎市の公共交通網の将来を考える上でも重要な事例である。

長野県松本市

市街地では路線バスのキャッシュレス決済を、郊外地域ではA I オンデマンド交通を導入し、住民ニーズを的確に捉え、コンパクトなネットワーク構築を図る事例として参考になった。

議会運営委員会

10月17日(火)～18日(水)



所沢市

学んできたこと

- 議会のDX化の取り組み
- B C P 策定の経過や実績
- 議会改革の取り組み、議会運営

議会運営委員会の活動



ここに注目!

東京都杉並区

議会のDX化にLINE WORKSを導入。ほとんどの議員から好評を得た。日程調整時間の圧縮などの効率化とともに安否確認にも対応したことを学んだ。

東京都目黒区

東京23区の議会ですべて最初にBCP（事業継続計画）を策定。さまざまな有事に対する議会对応のルールを明確にした。新型コロナウイルス対応での当局との情報共有などに有効に機能していることを確認した。

埼玉県所沢市

政策研究審議会を活用し、専門的知見による政策研究を行っている。議会と市民との意見交換を含め政策討論会を実施。重要政策に対する論点整理を行い、政策形成サイクルに反映させている。議会改革評価表で議会として自己評価を実施している。当議会と比較しながら参考にしたい。



文教厚生常任委員会

■ 10月31日(火)～11月2日(木)



学んできたこと

- ファミリーサポートセンター事業
- インクルーシブ教育
- 赤ちゃんの駅設置事業

常任委員会の活動



ここに注目!

石川県白山市

ファミリーサポートセンター事業に対するニーズは、園児・児童の預かりが多い。協力会員が育児援助活動に関する知識習得のための講習を受講することなどは、サービスの質的向上を図る取り組みとして効果的である。

石川県小松市

小松市では、インクルーシブ教育の推進に向け、合理的配慮事例集を作成するなど積極的な取り組みを実施している。授業風景を参観したが、多様性を重視する教育形態の必要性を感じる事例であった。

富山県黒部市

赤ちゃんの駅は、乳幼児を抱える保護者などが外出時に気軽に授乳やおむつ替えができる場所であり、その設置を官民連携により市内に広く展開している。地域全体で子育てを支えていこうという気概を感じた。

議案審査以外の活動事例 (内容)

前月までの議会の日程



11月6日(月)	産業建設常任委員会による「特定空き家等除却補助金制度創設に関する政策提言書」提出		提言書(PDF)
11月8日(水)	総務常任委員会(所管事務の調査)		
11月13日(月)	産業建設常任委員協議会(産業振興部からの報告)		
12月13日(水)	産業建設常任委員協議会(産業振興部からの報告)		
12月14日(木)	文教厚生常任委員協議会(福祉保健部、教育委員会からの報告)		
12月15日(金)	総務常任委員協議会(消防本部、市民生活部、財務部、総合企画部からの報告)		
12月26日(火)	産業建設常任委員会と農業委員会との意見交換会		
1月2日(火)	令和6年能登半島地震への対応(市内被害状況の確認)		

1月2日 市長応接室▶





一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。あなたはどんなことに興味がありますか？

質問項目 



まちづくり



近藤由香里

Q 東京電力HDの社員異動に伴うまちづくりの方向性

A 駅前の就業人口が200人増加することを生かして中心市街地の活性化を進める

質問 東京電力HDは令和8年度に本社機能を一部移転し、柏崎駅前に200人が働く新社屋を建設する予定だが、中心市街地のまちづくりにつなげてはどうか。

回答 駅前の就業人口増加を歓迎し、中心市街地の活性化、地域内の経済循環を視野に入れながら、今後の東京電力HDの動向を注視し、協議・対話を行っていく。

他の質問 不調を乗り越え、活躍できる社会を目指して



動画でチェック

予算編成



佐藤和典

Q 次年度の予算編成に対し市長が重要視する考えは何か

A 堅実な財政運営を行い、二つの重点戦略の推進へ向けた新事業を検討したい

質問 市長にとって2期目最終年の予算編成となるが、残り1年間をどのような年にしたいのか。また、令和6年度の予算編成に対する市長の想いや重点施策を伺いたい。

回答 「人口減少・少子高齢化の同時進行」に対応し、「力強く心地よいまち」の実現に向けた1年にしたい。新たな事業を検討し、二つの重点戦略を推進していきたい。

他の質問 櫻井市長の市政運営



動画でチェック

マーチング



春川敏浩

Q ぎおん柏崎まつりマーチングパレード参加校減少の対応

A コロナ禍前と比べて参加団体は半減した。新たな発表の場を検討する

質問 ぎおん柏崎まつりの開催を告げるマーチングパレードだが、参加校が年々減少している。その要因と今後の対応は。

回答 コロナ禍で2年間中止し、令和元年度の13団体に対して令和5年度の参加団体数は半減した。背景には子どもの減少や指導者不足などがある。ぎおん柏崎まつりに限らず、子どもたちの発表の場を検討していく。

他の質問 環境に優しい農業を目指して小・中学校の廃校舎の活用



動画でチェック

鉄道高速化



相澤宗一

Q 柏崎駅を通らないルートを採用があってはならない

A 県全体の利便性、一体性を十分考慮した適切な判断を強く求めていく

質問 県の「高速鉄道ネットワークのあり方検討委員会」から新たに2案が提示されたが、受け止めを伺う。

回答 信越本線の利便性向上に向けた要望活動を毎年行うなど、日本海縦貫鉄道整備には歴史がある。柏崎駅を経由しない「ほくほく線ミニ新幹線化」案は不可解であり、市として到底受け入れられるものではない。

他の質問 自転車事故による被害を最小限に



動画でチェック

道の駅再整備



山本博文

Q 道の駅「風の丘米山」再整備に当たっての課題と方向性

A 民間事業者と連携して海の柏崎の魅力を感じることができる道の駅を目指す

質問 道の駅「風の丘米山」再整備にあたっての基本的な課題と今後の方向性は。

回答 集客力を高めるために丘側の視認性向上が必要である。地形や眺望などの特性を生かし、国道側と丘側の一体性や周遊性を検討したい。周辺の観光スポットを生かしながら民間事業者と連携して海の柏崎の魅力を感じることができる道の駅を目指したい。

他の質問 ごみ処理場と資源物リサイクルセンターの方向性



動画でチェック

がん予防



西川弘美

Q 子宮頸がん予防のHPVワクチン定期接種の啓発推進を

A 定期接種やキャッチアップ接種の対象者へ積極的な情報発信に努める

質問 子宮頸がん予防のHPVワクチン定期接種や接種差し控え世代へのキャッチアップ接種（2024年度末で補助終了）の現状は。また男性への費用助成の考えはあるか。

回答 令和5年4月に9価ワクチンが追加されたことを対象者に案内し、問い合わせがある。接種率は2割に満たないため啓発に努めたい。男性への助成は国の動向を見る。

他の質問 障がい福祉の相談支援体制の充実・強化



動画でチェック

観光産業



三嶋崇史

Q 持続可能な観光産業を目指す柏崎市の取り組み

A 情報発信を後押しすることで稼ぐ力の活性化を目指す

質問 地域活性化の好循環を目指した地域の稼げる看板商品の創出、体験型観光など、観光地として「稼ぐ力」を高めるための市の取り組みは。

回答 市内の文化・景観を活用した商品が生まれることは地域活性化の好循環につながることを期待できる。柏崎観光協会と共に商品の販売、情報発信を後押ししていく。

他の質問 教育環境の充実



動画でチェック

新年度予算



真貝 維義

Q 新年度予算額と重点政策・国の補正予算への対応

A 子ども・経済対策にメリハリのある予算編成を行う

質問 2023年骨太方針を踏まえた、2024年度予算の額と市の重点政策の具体的な展開および国の補正予算に対する取り組みは。

回答 子ども・経済対策を重点に、市民が実感できる予算編成を行う。国の補正予算に対応するため、補正予算を12月議会に上程予定である。

他の質問 地方公務員の定年延長と持続可能な自治体経営 ほか



動画でチェック

中山間地農業



山崎 智仁

Q 中山間地の農地維持と所得安定に対する市の考えを

A 地域のよりどころという側面もふまえ、国の施策を活用して諸課題に取り組む

質問 不利な条件が多い中山間地の農地維持と生産者の所得安定に対する市の考えは。また、中山間地での営農継続の取り組みについて、現状と課題をどう捉えているか。

回答 中山間地の農業は、農作物の生産だけでなく地域のよりどころの面もある。国の直接支払制度などを活用し、農地維持・所得安定などの課題に取り組んでいく。

他の質問 本市の有害鳥獣対策



動画でチェック

農業支援



五位野 利実

Q 渇水・高温障害の影響を受けた農家への支援を求める

A 市として新たな支援策を検討する

質問 災害級といわれる渇水・高温障害の影響による減収を補填し、「これで来年も農業ができる、コメづくりができる」と実感できる農家への支援が必要ではないか。

回答 コメの等級が著しく低下し、減収となった農家への支援も必要と考えている。県の支援策も踏まえつつ、市として新たな支援策を検討する。

他の質問 子育てなら柏崎といえるような支援の充実を ほか



動画でチェック

子どもの遊び場



池野 里美

Q 悪天候でも遊べる屋内施設の充実を

A 屋内の遊び場が少ないことは市としての課題と認識している

質問 悪天候時に親子が無料で遊べる公共施設は元気館だけで、市外の施設へ行く親子が多い現状をどう考えるか。

回答 以前から、屋内遊び場施設の不足は課題であると認識している。旧庁舎跡地に計画している子どもの遊び場エリアを含めて、今年度中には屋内遊び場施設機能の方向性を示したい。

他の質問 柏崎の自然が大好きと思える子どもたちを育むために



動画でチェック

園芸振興



布施 学

Q 園芸の渇水対策に地下水水位制御システムの導入を

A システムの活用を含めて、最適なほ場整備に向けて協議していく

質問 今夏の猛暑・渇水は園芸にも大きな打撃を与えた。渇水対策として、農研機構の地下水水位制御システムを市内の土地改良基盤整備の標準とできないか。

回答 水位制御システムは、園芸・稲作ともに収量・品質向上が期待できるため、システムの活用を含めて、最適なほ場が整備されるよう県や関係機関と協議していく。

他の質問 ふるさと納税制度
米山プリンセスの認証基準 ほか



動画でチェック

学校施設管理



佐藤 正典

Q 建設後30年経過した学校の改築・大規模改修の計画

A 小・中学校の改築・大規模改修は児童・生徒の安全・安心を最優先に進める

質問 トイレの洋式化、特別教室へのエアコン設置、照明のLED化など、主要設備更新の計画は。

回答 トイレの洋式化は令和7年度までに改修を完了し、特別教室へのエアコン設置は令和8年度を目途に着手したい。多額の費用を要するが、照明のLED化など、快適な教育環境のための施設整備を継続していく。

他の質問 最低賃金の引上げに対する市の姿勢



動画でチェック

防災



三宮 直人

Q 倒木による長期停電を防ぐ樹木の事前伐採の検討状況は

A 事前伐採の意向を伝え、全県的なスキーム構築に向けた協議を継続中

質問 昨年の大雪では大切な市民の命が失われた。これを教訓とし、長期の停電の原因となった倒木を減らすには樹木の事前伐採が必要と提案したが検討状況はどうか。

回答 昨年の大雪を教訓に電力事業者と情報共有を図ってきた。「今後の停電対策に向けた検討会」などを通じて意向を伝え、全県的なスキーム構築に向けて協議している。

他の質問 子どもの貧困対策



動画でチェック

原発再稼働



星野 幸彦

Q 再稼働判断のステップは

A 規制委員会の審査結果や県の議論、国への要望の具現化などを勘案し判断

質問 県の「3つの検証」が終了し再稼働議論が本格化する中、どのようなステップで判断するつもりなのか。

回答 再稼働判断については、まず規制委員会の審査結果、次に県が行う県民議論・県議会議論を見定める。また国への要望の具現化などを総合的に勘案し、判断する。もちろん、市議会の意見も重要視する。

他の質問 原子力規制委員会の審査 ほか



動画でチェック

保育士確保



Q 保育士確保に向けた資格取得支援制度の導入を

A 現時点では慎重に考える必要がある

質問 あらゆる分野で人手不足が叫ばれる中、保育士も例外ではない。資格を所有していない保育従事者などが保育士資格を取得する際の支援制度を取り入れてはどうか。

回答 現状、市内の公立・私立保育園では保育士は配置基準を満たしていることから、提案された支援制度の導入については慎重に考えるべき課題である。

他の質問 市職員の勤怠管理



動画でチェック

原発規制



Q 原発立地自治体としての監視能力・具申力が問われる

A 住民の監視組織である「地域の会」の法制化を国に投げかける

質問 運転期間の延長認可が原発を推進する経産省の所管となり、原子力規制委員会の独立性が揺らいでいる。今こそ立地自治体としての監視能力・具申力が問われる。

回答 フランスでは、立地地域に民間を含めた原子力規制組織があり、法制化されている。住民監視組織の一つとして、「地域の会」の法制化を国に投げかけていく。

他の質問 市民を真ん中にする交通安全対策ほか



動画でチェック

私たちは



賛成 × 反対 しました

議員の賛否状況



議員賛否一覧（12月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など）

議決日	議案	布施学	山崎智仁	星野幸彦	佐藤正典	池野里美	三嶋崇史	近藤由香里	田邊優香	山本博文	西川弘美	持田繁義	五位野和夫	重野正毅	三宮直人	相澤宗一	佐藤和典	柄沢均	上森茜	春川敏浩	阿部基	星野正仁	真貝維義
12月20日	上水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対 柄沢 均議長は採決に加わりません。

政務活動を行いました



日本共産党柏崎市議員団

■ 7月22日(土)～24日(月)



会場の市民文化ホール前にて(岡山市)

活動内容

- 研修参加 (自治体学校in岡山)

日本共産党
柏崎市議員団



憲法・地方自治に根ざしたまちと暮らし

自治体学校は、自治体の議員や職員、学者・研究者、住民の方々が全国から集い、地方自治の拡充や住民の暮らしの向上を目指した政策や経験に関する学習・研究を進めるとともに、交流を深める研修会である。

初日と最終日の全体会では、岸本聡子杉並区長の「地域の主権を大切に、ムニシパリズムの広がり」、太田昇真庭市長の「地方自治体が直面する課題への挑戦(現場から)」と題した講演を聞いた。23日の分科会は、持田議員が「水島でカーボンニュートラルの取組を学ぶ」、五位野議員が「住民とともに進める持続可能な地域づくり」に参加した。

3日間、全国の地方自治に関する課題と取り組みを学び交流した。柏崎市が憲法・地方自治に根ざしたまちとなるよう今後の議員活動に生かしたい。

暮らしと笑顔*

■ 8月18日(金)



担当職員(左)と(南魚沼市役所)

活動内容

- 南魚沼市視察 (教育委員会内に配置されているSSW)

暮らしと笑顔



(*) 会派に所属しない議員に政務活動費を交付する際に使用する名称であり、通常の会派ではありません。

SSW (スクールソーシャルワーカー)

南魚沼市は平成29年度から教育委員会の中に単独でSSWを配置している。不登校などの増加の要因や背景が複雑化し、学級担任(学校)だけでは解決が難しい深刻な事態が増加しているため、福祉の専門家として幅広い知見を有する社会福祉士をSSWとして学校教育課に配置した。

SSWが相談者(児童・生徒や保護者)に直接関わることで、社会福祉の観点から子どもを取り巻く環境に具体的に働きかけ、状況を一元化し継続的にケース管理できるようになった。教師側からも相談しやすく、すぐに動いてもらえる体制があり、非常に助かっているとの声があると伺った。

子どもを取り巻く環境が複雑化する今、子どもたちのSSOに迅速に対応するために柏崎市でも取り入れて欲しいと感じる視察であった。



公明党

■ 10月10日(火)～11日(水)



ふるさと回帰支援センター職員(右)と(千代田区)

活動内容

- 内閣府訪問（原子力防災に関する要望）
- ふるさと回帰支援センター視察（移住相談状況調査）

公明党



移住相談の状況（ふるさと回帰支援センター）

ふるさと回帰支援センターは、都市と地方の交流・移住・定住を支え、地方再生と地域活性化を目指している。全国の自治体と連携して全国各地の移住情報を提供し、地方暮らしに希望を見出し新しい生き方を模索する人の相談に対応している。

相談件数はコロナ禍で落ちたものの右肩上がりの傾向は続いており、年間約5万件に達する。以前は“定年退職後の田舎暮らし”といった相談が主だったが、最近は30～40歳代からの相談が多くなっている。そのため移住条件として働く場の確保が欠かせないことや、住居は賃貸が多いこと、ある程度利便性のある地方都市が選ばれ、新潟県はもともと縁のある方が移住する傾向がある、などの説明があった。柏崎市が移住先に選ばれるために、データや資料を参考に、多角的なアプローチが必要だと感じた。

民社友愛

■ 10月26日(木)～27日(金)



神流川水力発電所の地下発電所(群馬県上野村)

活動内容

- 広野火力発電所視察（エネルギーの調達状況など）
- 神流川水力発電所視察（揚水式水力発電所の役割）

民社友愛



エネルギーの調達状況、供給体制

原子力と同様の役割を持つベース電源を賄う石炭火力と、原子力発電と対の関係にある揚水式発電を視察した。

現在の広野火力発電所は3基が運転可能、1基は重原油、残り2基は最新鋭のIGCCを採用している。この技術によりCO₂の排出量もかなり抑えられているとともに、低コストで調達できる石炭での発電は電気料金が高止まる中においては大変重要なエネルギーである。

天候に左右される太陽光発電の普及が進む昨今において神流川水力発電所は、電力調整のピーク電源として効率的な運転に欠かせない設備である。

限りある資源を組み合わせることで安定的に電力を供給しなければならず、それぞれの発電方法のメリット・デメリット（特に太陽光発電との組み合わせ）を理解しながら考えていかなくてはならない。

柏崎市議会の政務活動費は、会派（通常は所属議員2人以上で結成）に対して交付されます。令和5（2023）年度の政務活動費を使った活動の一部を報告します。社会クラブ・柏崎のみらい連合の報告は前号に掲載しました。政務活動費を使った活動報告は、市議会ホームページに随時掲載します。

R5政務活動費



柏盛クラブ

■ 11月6日(月)～7日(火)



板橋第十小学校(板橋区)

活動内容

- 内田洋行視察（これからの学校教育の在り方）
 - 板橋区視察（先進的學校校舎・施設の状況）
- ほか

柏盛クラブ



先進的な校舎の状況（板橋区立板橋第十小学校）

校内の施設見学後、学校の教育環境について以下の説明を受けた。職員室のフリーアドレス化について小学校としてのデメリットはない。学年担当者ごとに固まることもなく、多くの教員とのコミュニケーションが取れるメリットがある。小学校の学級担任は職員室にほとんど戻らなくてもいいため、職員室の自席の確保に必要性を感じられない。このような学校校舎の設えが広がっていった方がいいと感じている。

職員の意識を変えるより、物的環境を変えることで行動も考え方も変わる、変えるという方式を取ることには理にかなっていると思われる。現在は板橋区でもこの第十小学校と上板橋第二中学校のみがフリーアドレスの職員室にしているが、今後は、この地区だけにとどまらない全国的な広がりを注目していきたい。

柏崎の風

■ 11月14日(火)～16日(木)



バリクリーン（愛媛県今治市）

活動内容

- 今治市視察（ごみ処理施設）
- エヌ・ピー・シー松山工場視察
- 伊方発電所視察
- まつやま R e ・ 再来館

柏崎の風



今治市クリーンセンター（バリクリーン）

柏崎市が進める新ごみ処理施設の建設を見据え、今治市のごみ処理施設バリクリーンを視察した。バリクリーンは平成30年にD B O方式により約120億円で建設され、「21世紀型ごみ処理施設モデル（今治モデル）」として注目されている。可燃ごみ処理施設、リサイクルセンターは、異臭を外部に出さない設計となっている。施設内には環境教育ブースの他、研修室や体育館も併設し、災害時には千人規模を収容する避難所として活用できる。

焼却熱を利用した高効率な発電により施設の電力を賄い、余剰電力は売電する他、焼却灰の一部はセメントとして再利用するなど、循環型社会の構築にも寄与している。

市民に開かれた清潔感ある施設であり、今後の人口動向やリサイクルによる焼却物の減少を踏まえ、施設規模の最適化を図った事例としても非常に参考になった。

2月

定例会議の予定



原則として本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
2/11	12	13	14	15	16 本会議 議案説明・質疑・付託 ※午前9時開会	17
18 委員会・分科会 産業建設・文教厚生	19 委員会・分科会 総務	20 委員会 予算決算	21 本会議 委員長報告・採決 施政方針、議案説明	22 (天皇誕生日)	23	24
25	26	27	28	29 本会議 代表質問、質疑・付託	3/1 委員会・分科会 (議案補足説明) 委員協議会・作業部会 (論点整理)	2
3 委員会 予算決算	4 本会議 一般質問	5 本会議 一般質問	6 本会議 (一般質問・予備日)	7 委員会・分科会 産業建設	8	9
10 委員会・分科会 文教厚生	11 委員会・分科会 総務	12 委員会・分科会 産業建設	13 委員会・分科会 文教厚生	14 委員会・分科会 総務	15	16
17 (委員会・予備日)	18 委員会 予算決算	19 (春分の日)	20 本会議 委員長報告・採決	21	22	23



本会議・委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。インターネット中継でご覧いただけます。録画映像と会議録も公開しています。

会議日程



中継・傍聴・会議録



点字訳・音声訳の

ギカイのとびらがあります

申し込みは市役所 1階福祉課へ。

TEL 0257-21-2299

FAX 0257-21-1315

点訳・音訳



編集後記

先日、近隣市で外食をした時のことです。利用した数店舗はどこも機械化が進み、座席案内から注文、配膳、会計に至るまで店員さんと接する機会がありませんでした。幼少期に見た映画やアニメが描いた近未来社会は、人口減少とともに省人化が進む「今」なのかと、

少し寂しく感じました。

DX時代では「人だからこそできること」の見極めが大切だと思います。要所要所で「人と笑顔で触れ合える柏崎」でありますように。

議会広報広聴常任委員

近藤由香里

次回発行は5月5日
お楽しみに

柏崎市議会

検索

議会広報広聴常任委員会

委員長 星野幸彦

副委員長 三宮直人

委員

山崎智仁 三嶋崇史 近藤由香里

西川弘美 五位野和夫 相澤宗一

阿部 基 春川敏浩